



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月9日

上場会社名 株式会社 昭和真空
 コード番号 6384 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 小俣 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 田中 彰一

TEL 042-764-0392

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	2,107	2.0	193	17.0	205	6.9	100	33.6
30年3月期第1四半期	2,065	1.8	232	1.8	221	21.0	150	6.1

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 51百万円 (62.8%) 30年3月期第1四半期 139百万円 (22.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	16.28	
30年3月期第1四半期	24.51	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	13,753	8,305	60.4	1,348.64
30年3月期	13,622	8,623	63.3	1,400.25

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 8,305百万円 30年3月期 8,623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		60.00	60.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		0.00		60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,200	3.8	623	32.4	620	32.4	429	43.3	69.66
通期	12,500	5.7	1,494	17.6	1,500	18.1	1,038	32.6	168.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	6,499,000 株	30年3月期	6,499,000 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	340,389 株	30年3月期	340,327 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	6,158,632 株	30年3月期1Q	6,158,686 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足説明	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成30年4月1日～平成30年6月30日)における世界経済は、米国では個人消費や設備投資の増加等を背景に着実な回復が続き、欧州やアジア地域においても、景気は持ち直しの動きが継続しました。国内経済は、堅調な個人消費や企業収益の改善等により緩やかな回復が続きました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、スマートフォン関連や電装化が進む車載関連の市場を中心に電子部品需要が堅調に推移しました。また、電子デバイスメーカー各社の次世代製品開発への積極的な取り組み姿勢が継続しました。一方で、スマートフォン関連では第5世代向け電子部品の開発進捗を睨みながら、現行の電子部品増産設備投資に対しては慎重な動きも見られるようになりました。

こうした環境の中、当社グループでは好調な市場を捉え、既存分野への深掘りによる拡販を推進するとともに、既存技術応用分野や新規市場の開拓に注力しました。また、次世代製品に向けた電子デバイスメーカーからの依頼実験や製品開発にも引き続き意欲的に取り組むことで事業の拡大を図ってまいりました。

生産面では、前期の受注残を背景に稼働率は良好に推移しました。また、品質向上に向けてメンテナンス性改善や社内検査の強化などに取り組みました。

損益面では、良好な稼働率をベースに効率的な生産に取り組むと共に、個別原価管理の強化等により利益率の改善に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、受注高は20億48百万円(前年同四半期比27.4%減)、売上高は21億7百万円(同2.0%増)となりました。

損益につきましては、経常利益2億5百万円(前年同四半期比6.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億円(同33.6%減)となりました。

セグメント別の状況はとおりであります。

①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の業績につきましては、水晶デバイス装置が引き続き堅調に推移し、光学装置、電子その他装置では、既存市場の深掘りや新規顧客の獲得等の成果がありました。第1四半期に受注を見込んでいた案件が翌期以降となったものがあるなど、全体としては力強さに欠ける展開となりました。

受注高は16億9百万円(前年同四半期比32.5%減)、売上高は16億67百万円(同2.4%増)、セグメント利益は3億15百万円(同5.0%減)となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

(水晶デバイス装置)

水晶デバイス業界では、次世代製品向け装置の受注獲得がありました。また、中国を中心とした海外水晶デバイスメーカーからの周波数調整工程向けの装置受注が堅調に推移しました。

水晶デバイス装置の受注高は6億33百万円(前年同四半期比43.0%減)、売上高は8億86百万円(同45.2%増)となりました。

(光学装置)

光学業界では、反射防止膜成膜用装置を中心に引合いが多いものの、受注判断が第2四半期以降となるものがありました。また、売上では客先都合により第1四半期に売上計上とならなかった案件がありました。

光学装置の受注高は6億1百万円(前年同四半期比24.8%減)、売上高は4億42百万円(同0.1%減)となりました。

(電子部品装置・その他装置)

電子部品業界では、自動車のリフレクター向け装置のリピーター受注の獲得など、既存技術応用分野や新規市場開拓に地道に取り組んできた効果が徐々に出てきました。

電子部品装置・その他装置の受注高は3億74百万円(前年同四半期比21.2%減)、売上高は3億38百万円(同41.2%減)となりました。

②サービス事業

サービス事業につきましては、当社ユーザーに対する定期的な稼働状況確認など積極的に働きかけるとともに、水晶モニターや光学装置オプション機構などによる顧客の生産性向上提案を推進し、装置の改造・修理や消耗品の販売に努めました。

サービス事業の売上高は4億39百万円（前年同四半期比0.6%増）、セグメント利益は1億10百万円（同2.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は104億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億52百万円増加しました。これは主に受取手形及び売掛金が24億54百万円減少したものの、現金及び預金が15億15百万円、仕掛品が11億45百万円増加したことによるものです。固定資産は32億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億21百万円減少しました。これは主に繰延税金資産が52百万円、投資有価証券が43百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は137億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億31百万円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は43億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億46百万円増加しました。これは主に未払法人税等が3億77百万円、賞与引当金が1億70百万円、役員賞与引当金が1億41百万円減少したものの、電子記録債務が5億94百万円、支払手形及び買掛金が2億45百万円、前受金が1億25百万円増加したことによるものです。固定負債は10億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円増加しました。これは主にリース債務が4百万円減少したものの、退職給付に係る負債が6百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は54億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億49百万円増加しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は83億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億17百万円減少しました。これは主に利益剰余金が2億69百万円、その他有価証券差額金が34百万円減少したことによるものです。

負債が増加し純資産が減少した結果、自己資本比率は60.4%（前連結会計年度末は63.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では平成30年5月10日付「平成30年3月期決算短信」にて発表いたしました業績予想に変更ありません。

なお、当社グループを取り巻く市場動向を踏まえ、今後の業績推移につきましてはより慎重に注視し、連結業績予想数値に見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,718,275	4,233,884
受取手形及び売掛金	4,922,764	2,467,902
商品及び製品	3,000	4,463
仕掛品	2,383,672	3,529,387
原材料及び貯蔵品	116,334	124,849
その他	111,195	147,268
貸倒引当金	△18,230	△17,865
流動資産合計	10,237,013	10,489,889
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	574,412	566,924
機械装置及び運搬具(純額)	103,461	89,951
土地	1,970,562	1,970,562
建設仮勘定	91,370	91,024
その他(純額)	76,488	69,924
有形固定資産合計	2,816,296	2,788,387
無形固定資産		
リース資産	12,436	10,762
その他	106,615	112,564
無形固定資産合計	119,051	123,327
投資その他の資産		
投資有価証券	215,422	171,843
繰延税金資産	225,783	172,830
その他	9,437	7,801
貸倒引当金	△284	△284
投資その他の資産合計	450,359	352,191
固定資産合計	3,385,707	3,263,906
資産合計	13,622,721	13,753,796

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,182,803	1,428,665
電子記録債務	1,276,461	1,871,304
短期借入金	111,972	111,972
リース債務	19,704	17,789
未払費用	235,067	240,048
未払法人税等	390,122	12,423
前受金	201,771	327,762
賞与引当金	282,831	111,855
役員賞与引当金	141,000	-
製品保証引当金	51,000	48,000
工事損失引当金	3,840	4,320
その他	37,862	206,435
流動負債合計	3,934,438	4,380,576
固定負債		
社債	450,000	450,000
長期借入金	50,000	50,000
リース債務	30,649	26,647
退職給付に係る負債	458,412	465,365
長期末払金	75,532	75,484
固定負債合計	1,064,593	1,067,498
負債合計	4,999,032	5,448,074
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,753,975	2,753,975
利益剰余金	3,756,298	3,487,037
自己株式	△278,181	△278,326
株主資本合計	8,409,197	8,139,791
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	119,513	85,307
為替換算調整勘定	93,196	79,593
退職給付に係る調整累計額	1,781	1,028
その他の包括利益累計額合計	214,491	165,930
純資産合計	8,623,689	8,305,721
負債純資産合計	13,622,721	13,753,796

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	2,065,830	2,107,082
売上原価	1,456,178	1,502,035
売上総利益	609,651	605,046
販売費及び一般管理費	376,825	411,705
営業利益	232,826	193,341
営業外収益		
受取利息	438	424
受取配当金	149	8,932
受取賃貸料	483	541
補助金収入	-	1,530
為替差益	-	4,221
その他	556	991
営業外収益合計	1,627	16,642
営業外費用		
支払利息	795	808
売上割引	1,261	2,879
為替差損	10,584	-
その他	778	527
営業外費用合計	13,420	4,216
経常利益	221,033	205,767
特別損失		
固定資産除却損	380	-
特別損失合計	380	-
税金等調整前四半期純利益	220,653	205,767
法人税、住民税及び事業税	21,884	37,366
法人税等調整額	47,814	68,141
法人税等合計	69,699	105,508
四半期純利益	150,953	100,259
親会社株主に帰属する四半期純利益	150,953	100,259

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	150,953	100,259
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,799	△34,205
為替換算調整勘定	△18,510	△13,602
退職給付に係る調整額	1,757	△752
その他の包括利益合計	△11,953	△48,561
四半期包括利益	139,000	51,698
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	139,000	51,698

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(『税効果会計に係る会計基準』の一部改正等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,629,376	436,454	2,065,830
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,042	3,571	6,613
計	1,632,418	440,025	2,072,444
セグメント利益	332,112	108,122	440,234

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	440,234
セグメント間取引消去	1,386
全社費用(注)	△208,793
四半期連結損益計算書の営業利益	232,826

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,667,795	439,287	2,107,082
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,289	12,731	14,020
計	1,669,084	452,018	2,121,103
セグメント利益	315,411	110,433	425,844

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	425,844
セグメント間取引消去	△4,367
全社費用(注)	△228,135
四半期連結損益計算書の営業利益	193,341

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 補足説明

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	886,890	145.2
光学装置	442,001	99.9
電子部品装置	338,903	58.8
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	1,667,795	102.4
サービス事業		
部品販売	248,312	101.8
修理・その他	194,301	101.5
サービス事業計	442,614	101.7
合計	2,110,409	102.2

(注) 1. 上記の金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	633,920	57.0	1,174,268	56.0
光学装置	601,606	75.2	3,313,548	98.4
電子部品装置	374,150	78.8	1,198,716	122.6
その他装置	—	—	—	—
真空技術応用装置事業計	1,609,676	67.5	5,686,532	88.3
サービス事業				
部品販売	244,985	100.0	—	—
修理・その他	194,301	101.5	—	—
サービス事業計	439,287	100.6	—	—
合計	2,048,963	72.6	5,686,532	88.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	886,890	145.2
光学装置	442,001	99.9
電子部品装置	338,903	58.8
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	1,667,795	102.4
サービス事業		
部品販売	244,985	100.0
修理・その他	194,301	101.5
サービス事業計	439,287	100.6
合計	2,107,082	102.0

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。